TCシンポジウム2022

K38

製品・サポート情報の
プロジェクトマネジメントを学ぶ、指導する
執筆工程（実践編）

～標準制作工程検討ワーキンググループ公開討論～

②パラグラフライティングへのリライト

2022年10月5日（水）

パネリスト

黒田　聡　標準制作工程検討ワーキンググループ主査

若山　陽介　標準制作工程検討ワーキンググループメンバー

標準制作工程検討ワーキンググループメンバー

アジェンダ

1.認知心理学からの知見

2.製品サポート情報へのパラグラフライティングの適用

「認知心理学からTCの基本を確認しよう」特別セミナーの質疑応答から

■ **質問：箇条書きにすればわかりやすくなるではないか**

- 回答：その場では分かりやすく感じるが、知識の定着性を考えると記憶には残りにくい。

■ **目的による**

- しっかりと理解してもらうことを目的とするか
- 読みながら操作してもらうことを目的とするか

■ **情報タイプによって目的も変わる**

- 操作手順（指示情報）
  - その場でわかればよい、実物と突合せしながら確認できればよいという考え
- 概念情報
  - 安全情報の場合、しっかり理解してもらう必要がある

■ **ショートディスクリプション（トピックセンテンス）の役割を再確認**

- 読んで頭の中で咀嚼し、以降の記述で詳細を確認してもらうためのもの
- 以降を読む必要があるかどうかを判断するための情報でもある

パラグラフライティングを適用したリライト例

■ Before

『高校には大学よりも選択科目が少なく、必修科目が多い。したがって、大学では高校に比べて、学生自身が学習内容を選ぶという点で大きな自由を持っている。こう言うことができる理由は、さらに、高校では、大学よりも科目数全体が少なくなっている。少なくともこれら二点が、大学教育と高校教育の相違である。』

出典：名古屋大学生のためのアカデミック・スキルズ・ガイド
「レポートの構成とパラグラフ・ライティングを知る」（2019年）

パラグラフライティングを適用したリライト例

■ Before

『高校には大学よりも選択科目が少なく、必修科目が多い。したがって、大学では高校に比べて、学生自身が学習内容を選ぶという点で大きな自由を持っている。こう言うことができる理由は、さらに、高校では、大学よりも科目数全体が少なくなっている。少なくともこれら二点が、大学教育と高校教育の相違である。』

■ After

『大学教育と高校教育には相違が、少なくとも二点存在する。一つは、大学は高校と比較して、必修科目もあるものの、選択科目が多いという点である。もう一つは、提供される科目数全体が大学のほうが高校よりも遥かに多く、様々な学問を学習することができるという点である。したがって、大学は高校に比べて、学生自身が学習内容を選ぶという点で大きな自由を持っているのである。』

出典：名古屋大学生のためのアカデミック・スキルズ・ガイド
「レポートの構成とパラグラフ・ライティングを知る」（2019年）

以下のように解釈

- トピックセンテンス（下線部）を追加
- 続く2つのサポートセンテンスで、トピックセンテンスで触れた点を詳述するように修正
- 文意を汲んで、「したがって」に続く結論を最後に配置（「起承結」の論理展開）

TCのリライト例

■ Before

『この説明書では、付属のソフトウェアを使用して、コメントや変更履歴機能を使って文章を校閲したり、校正機能を使ってスペルチェックを行ったり、イラストや写真、文字などに効果を付けた文書を作成したりする機能について説明します。
ソフトウェアのセットアップ方法や他の機能については、リファレンスマニュアルを参照してください。』

TCのリライト例1

■ Before

『この説明書では、付属のソフトウェアを使用して、コメントや変更履歴機能を使って文章を校閲したり、校正機能を使ってスペルチェックを行ったり、イラストや写真、文字などに効果を付けた文書を作成したりする機能について説明します。
ソフトウェアのセットアップ方法や他の機能については、リファレンスマニュアルを参照してください。』

■ After

『この説明書では、付属のソフトウェアの以下の機能について説明します。
•イラストや写真、文字などに効果を付けた文書を作成する
•校正機能を使ってスペルチェックを行う
•コメントや変更履歴機能を使って文章を校閲する
ソフトウェアのセットアップ方法や他の機能については、リファレンスマニュアルを参照してください。』

- 箇条書きに分けて短文化し、重要度順、機能の使用順に並べ替え
- 見出しを付けるならば「本書に記載している内容」

TCのリライト例2（パラグラフライティングを適用）

■ Before

『この説明書では、付属のソフトウェアを使用して、コメントや変更履歴機能を使って文章を校閲したり、校正機能を使ってスペルチェックを行ったり、イラストや写真、文字などに効果を付けた文書を作成したりする機能について説明します。
ソフトウェアのセットアップ方法や他の機能については、リファレンスマニュアルを参照してください。』

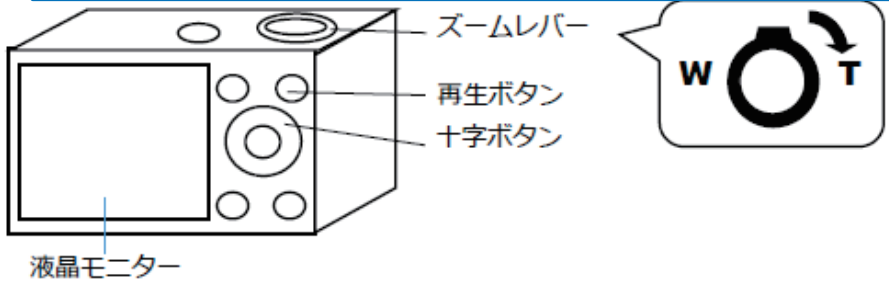
■ After

『この説明書では、以下の3つの活用シーンを例にして付属ソフトウェアの使い方を説明します。
•イラストや写真、文字などに効果を付けた文書を作成する
•校正機能を使ってスペルチェックを行う
•コメントや変更履歴機能を使って文章を校閲する
ソフトウェアのセットアップ方法や他の機能については、リファレンスマニュアルを参照してください。』

- 単に「以下の機能」だけとせず、3点あることなどを補強してトピックセンテンス化
- 各活用シーンを箇条書きに分けて短文化し、重要度順、機能の使用順に並べ替え
- 見出しを付けるならば「本書に記載している内容」

情報タイプ「指示情報」への適用例

「一文一義」、「手順と結果を分ける」を徹底すると、各パラグラフはほぼ1センテンスとなり、パラグラフライティングを適用する余地はあまりない。

項目	内容
タイトル	画像を再生する
ショートディスクリプション	撮影した画像を、液晶モニターに表示して確認します。
本文	1. 電源スイッチを押して、本機の電源を ON にします。 2. 再生ボタンを押して、再生モードに切り替えます。 最後に撮影した画像が、液晶モニターに表示されます。画像は、撮影日時順に記録されています。 3. 十字ボタンの ▲▼◀▶ を押して、画像を選択します。 ・ 十字ボタンの ▲▼◀▶ を長押しすると、画像を早送りできます。 ・ ズームレバーを「T」の方向に回すと、画像を拡大表示できます。元のサイズに戻すには、決定ボタンを押してください。  <ヒント> 撮影を再開するには、撮影モードボタン、またはシャッターボタンを押してください。

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

サポートセンテンス

パラグラフ

ショートディスクリプションが、全パラグラフのトピックセンテンスとなっていることを確認する（「指示情報」の場合、タイトルだけで十分と考えられるときは、無理に書かないものであるため）。

ショートディスクリプションのリライト例

「液晶モニターで再生する画像の選択方法、拡大方法について説明します。」

情報タイプ「概念情報」への適用例

パラグラフの切れ目、センテンスの役割が適切か確認する。

項目	内容
タイトル	撮影モードの種類
ショートディスクリプション	撮影モードは、オート撮影モード、オートシーンモード、セレクトシーンモード、および動画撮影モードから選択できます。被写体や撮影状況に応じて、撮影モードを選択してください。
本文	撮影モードボタンを押すと表示される撮影モードメニューから、十字ボタンで撮影モードを選択できます。 ●オート撮影モード 初めてデジタルカメラを使う場合でも、気軽に撮影できます。 撮影状況に合わせて、本機が自動的に最適な設定をします。 ●オートシーンモード 撮影状況に合わせて、撮影シーンを自動的に判別します。より簡単に、撮影シーンに合った撮影ができます。撮影シーンを判別すると、液晶モニターの左上にシーンアイコンが表示されます。 判別可能な撮影シーンは、ポートレート、風景、夜景、クローズアップ、逆光です。 <注意>撮影状況によっては、意図した撮影シーンとして判別されない場合があります。 その場合は、オート撮影モードまたはセレクトシーンモードで撮影してください。 ●セレクトシーンモード 撮影シーンを選ぶだけで、その撮影シーンに合った設定で撮影できます。選択可能な撮影シーンは、ポートレート、風景、スポーツ、夜景、夕焼け、料理、花火、クローズアップ、逆光です。 ●動画撮影モード

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ（序本結）

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

パラグラフ

詳述するサポートセンテンス

ショートディスクリプションのトピックセンテンスが、全パラグラフのトピックセンテンスとなっていることを確認する

別パラグラフでよいか確認する
→1パラグラフにする

情報タイプ「参考情報」への適用例

パラグラフの切れ目、センテンスの役割が適切か確認する。

項目	内容
タイトル	このメモリーカードは使えません。フォーマットしますか？
ショートディスクリプション	メモリーカードが、本機用にフォーマットされていません。
本文	フォーマットすると、メモリーカード内のデータはすべて削除されます。メモリーカード内に必要なデータが残っている場合は、「キャンセル」を選択し、コンピューターなどにデータを保存してから、フォーマットしてください。 「実行」を選択すると、メモリーカードがフォーマットされます。 <注意> メモリーカードのフォーマット中は、本機の電源を OFF にしないでください。

パラグラフ

パラグラフ（起承結）

パラグラフ

ショートディスクリプションが、全パラグラフのトピックセンテンスとなっていることを確認する（「参考情報」の場合、タイトルだけで十分と考えられるときは、無理に書かないものであるため）。

ショートディスクリプションのリライト例

タイトルは表示されるメッセージそのものと考えられる。現在のショートディスクリプションはその原因を説明している文である。本文1文目に移動する。

ショートディスクリプションは「本機用にメモリーカードをフォーマットするとデータはすべて削除されます。」とする。